

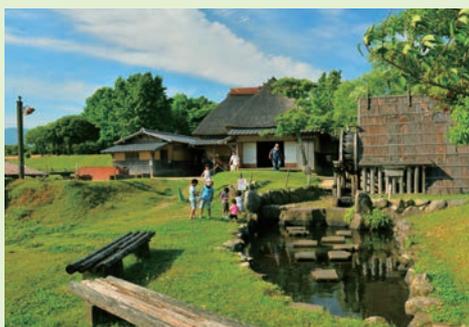


# 福岡県の土地改良

第179号  
平成28年5月20日

福岡県土地改良事業団体連合会





【表紙】

第11回水土里のふるさと写真コンテスト  
優秀賞作品「憩いの里」

撮影場所：筑前町

【発行所】 福岡県土地改良事業団体連合会  
福岡市博多区千代4-4-28  
TEL 092-642-1881

【編集】 総務課

## CONTENTS

- 01 会長理事あいさつ
- 02 専務理事あいさつ
- 03 平成27年度 第2回監事会及び定期監査
- 03 平成27年度 第3回理事会
- 03 平成28年度 第1回理事会
- 04 第59回通常総会（表彰）
- 06 全国水土里ネット 第58回通常総会（表彰）
- 08 平成27年度 福岡県土地改良換地士部会
- 08 平成27年度 災害復旧技術向上のための講習
- 08 会長・事務責任者会議（九州協議会）
- 09 第11回  
水土里のふるさと写真コンテスト審査委員会
- 09 平成27年度多面的機能支払交付金の実施に係る研修会
- 10 竹野地区竣工式（竹野第二土地改良区）
- 10 寺山地区竣工式（糸島市志摩土地改良区）
- 11 第11回 水土里のふるさと写真コンテスト
- 12 土地改良農業用施設賠償責任保険のご案内
- 12 土地改良施設管理活動中の傷害保険
- 13 非補助農業基盤整備資金のご案内
- 13 土地改良事業に関する助言及び指導
- 14 人事（連合会）
- 16 人事（県）



## ご挨拶

福岡県土地改良事業団体連合会  
(水土里ネット福岡)

会長理事 かね こ 金子 けん じ 健次

会員の皆様方には、日頃から本会の運営に特段のご配慮を賜りますとともに、農業農村整備事業の推進に多大なご尽力、ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

4月14日以降、九州地方で連鎖的に発生しました大地震では、各県において大きな被害が発生しております。亡くなられた方々のご冥福をお祈りするとともに、被災された多くの方々に対しまして心からお見舞いを申し上げます。一刻も早い復旧・復興を願っております。

さて、今日の農業農村の置かれている状況は、過疎化、高齢化、担い手の不足の進行による地域活力の低下、更には土地改良施設の老朽化に伴う維持管理費の増大など課題が山積しており、一段と厳しい状況になっております。

そのような中、平成28年度農林水産予算が明確になり、農業農村整備事業については、平成27年度補正予算を合わせると、前年度を上回る額が計上されておりますが、予算が大幅削減される前の平成21年度の状況までは未だに回復していない状況であります。

このような状況であります。農産物の生産コスト削減や高付加価値化に資する農地の大区画化・汎用化、国土強靱化の観点に立った施設の更新、耐震化を計画的に推進していくことが必要であります。現在、各地で農業農村整備事業が実施されておりますが、今後とも、より活用しやすい制度の整備と必要な予算の確保が重要であります。

本会といたしましては会員の皆様と今以上に連携をとりながら、農業農村整備事業の推進に努力して参りたいと考えております。

当会ではUAV(無人飛行機)による測量や、地上型レーザーによる測量、地形データの3D解析等、新技術に積極的に取り組んでおります。今後、会員の皆様に活用して頂き大いに役立てて欲しいと思っております。

結びに、皆様方のご健勝とご多幸を心から祈念いたしますとともに、本会に対して今まで同様のご支援を賜りますようお願い申し上げます。



## ご挨拶

福岡県土地改良事業団体連合会  
(水土里ネット福岡)

専務理事 よしむら 吉村 きょういち 恭一

第59回通常総会、そして平成28年度第1回理事会において選任をいただき、専務理事に就任いたしました吉村でございます。会員の皆様には、今後、様々な機会でお世話になることと思いますが、よろしく願い申し上げます。

4月14日に発生しました九州地方における大地震では、各県において大きな被害が発生しております。被災された多くの方々に対しまして心からお見舞いを申し上げます。一刻も早い復旧・復興を願っております。

さて、昨年3月に閣議決定された「新たな食料・農業・農村基本計画」では、農業の構造改革、国内外の新たな需要の取り込み等を通じて農業や食品産業の成長産業化を進める産業政策と、構造改革を後押ししつつ、農業・農村の多面的機能の発揮を進める地域政策を車の両輪として、施策を展開していくこととしています。

この計画の実現に向けて、私たち土地改良に携わるものが果たすべき責務は、食料の安定供給や農業農村の多面的機能を発揮させるため、先人達がたゆまぬ努力により維持・活用されてきた農地や農業水利施設など、地域の資源を確実に良好な状態で次の世代へと継承していくことが重要です。その実現のためには農業生産基盤の整備や多面的機能支払い制度の着実な推進などが求められています。

現在、農業・農村は農業就業者の高齢化、減少等により担い手の不足や耕作放棄地の増加等、数多くの課題に直面しています。持続可能な強い農業を実現するためには、農地の大区画化、汎用化等の農地整備や適時適切な農業水利施設等の維持・更新が必要となります。さらに、たび重なる自然災害の発生に対応するために防災・減災対策も重要となります。

当会といたしましては、本県農業・農村の健全な維持・発展に向け、その責務を果たすべく会員市町村、土地改良区の皆様の声を聞きながら誠心誠意努力していく所存であります。

今後ともお力添えを賜りますようお願いいたしまして、就任の挨拶といたします。



## 平成27年度 第2回監事会及び定期監査

日時：平成27年12月22日 午前11時～

場所：水土里ネット福岡

平成27年度第2回監事会及び定期監査を行いました。監事会では、監査実施内容について審議を行い原案どおり承認されました。

引き続き行った平成27年度上半期監査について、会計並びに業務全般についていずれも適正に処理されていることが確認されました。



## 平成27年度 第3回理事会

日時：平成28年1月20日 午前10時30分～

場所：水土里ネット福岡

平成27年度第3回理事会を開催しました。下記項目について提案審議され、全て原案どおり可決承認されました。

### 提出議案

- 第1号議案 平成27年度上半期監査報告について
- 第2号議案 福岡県土地改良事業団体連合会 特定個人情報取扱規程の設置について
- 第3号議案 第59回通常総会について



## 平成28年度 第1回理事会

日時：平成28年4月1日 午後4時30分～

場所：水土里ネット福岡

平成28年度第1回理事会を開催しました。下記項目について提案審議され、全て原案どおり可決承認されました。

### 提出議案

- 第1号議案 専務理事の互選について



# 第59回 通常総会

平成28年2月25日午前10時30分から水土里ネット福岡5階大会議室において、第59回通常総会を開催しました。来賓に九州農政局瀧戸次長、福岡県農林水産部吉村次長をはじめ、福岡県議会農林水産委員会桐明委員長ほか多数を招き会員176名が出席しました。総会は新川副会長の開会の言葉で始まり、金子会長挨拶のあと、来賓の皆様から祝辞が述べられました。続いて長年にわたり土地改良事業の推進と発展に功績のあった個人並びに団体の表彰を行いました。

議案審議では、議長に選任された野田理事長（広川土地改良区）による議事進行のもと、提出した7議案全て可決承認されました。また、最後に決議（案）が朗読され、満場の拍手で決議されました。



金子会長挨拶

## 決 議

豊かな国土や自然環境の保全はその多くを、農業・農村が担っており、そこが健全であって初めて維持されるものである。このため先人達は、農地や農業用水などの維持、向上に向け、献身的な努力を続けてきた。

しかし、今日の農業・農村においては、過疎化、高齢化、担い手不足に加え、人口減少に伴う地域活力の低下などの課題が山積している。さらに、頻発する自然災害は日本の安全な食と健全な農業、美しい農村に重大な影響を与えることが懸念される。

また、ため池や頭首工、ポンプ施設、用排水路など農業水利施設の老朽化も進行しており、食料生産能力の増加、転作作物や非主食米等への転換に支障を来すばかりでなく、国民の生命と財産にも多大な損害をもたらすのではないかと危惧されるところである。

このため、生産現場の強化につながる農業農村整備事業をはじめとした各種の農業・農村の振興に資する施策の推進により、営農を営む担い手への農地集積の加速化、経営基盤の強化・拡大を実現し、攻めの農業を展開していく必要がある。

このような現下の農業・農村を巡る厳しい現状を踏まえ、下記事項について本会の名において決議する。

## 記

- 一、土地改良事業を計画的・安定的に行うための農業農村整備事業予算の確保
- 一、担い手への農地集積の加速化に向けた暗渠排水などの基盤整備の推進
- 一、農業水利施設の適切な保全管理の推進
- 一、多面的機能支払制度の推進
- 一、水土里情報の更なる利活用の促進

平成28年2月25日

福岡県土地改良事業団体連合会 第59回通常総会

# 第59回 通常総会表彰

表彰された方々 (順不同 敬称略)

## 個人の部 会員の代表者等



**宮地 豊勝**  
(高田土地改良区 副理事長)

**金子会長**

**谷本 英司**  
(松田土地改良区 理事長)

## 個人の部 会員の職員



**田中 啓一**  
(広川町 産業振興課 主幹兼整備係長)

**佐田 真美**  
(瀬高町土地改良区 事務職員)

**金子会長**

**縄田 睦子**  
(嘉麻市 農村整備課 事務員)

**古賀 俊幸**  
(久留米市 農村整備課長)

**中村 兼敏**  
(中元寺土地改良区 事務局長)

**福本 豊彦**  
(上毛町 税務課長)

**三隅 忠**  
(みやこ町 議会事務局長)

# 第58回 通常総会

平成28年3月25日全国都市会館において第58回通常総会が開催され、閉会后、シェーンバッハ・サボーにおいて全国水土里ネット表彰式が執り行われました。

表彰式では、農林水産大臣表彰、農村振興局長表彰、全国水土里ネット会長表彰、農業農村整備優良地区コンクール、21世紀土地改良区創造運動表彰について表彰状の授与が行われました。

福岡県から団体表彰金章に柳川西部土地改良区、銀章に大木町土地改良区、元永土地改良区、個人表彰に角田中部土地改良区の矢鳴理事長と福岡県土地改良事業団体連合会の多田事業部長が表彰されました。

## 決議

昨年十月、T P P協定交渉が大筋合意され、この二月には、参加十二ヶ国が協定文に署名を行ったところである。T P P協定は、政府の試算によると、わが国にメリットがある一方、将来的に農産物の価格低下なども想定されている。T P P協定の締結が予定される中、農業従業者の努力が報われる農業の実現に向けて、農業の成長産業化を加速することが求められている。

一方、農村では、都市に先駆け高齢化や人口減少が進んでおり、農業従業者の高齢化、減少等による農地の荒廃や、担い手不足等による農地、農業用水等の管理や営農の継続への影響など、農業・農村に様々な影響をもたらすことが想定される場所がある。

水土里ネットは、力強い農業の実現等を通じた食料の安定供給や農業・農村の多面的機能を発揮させるため、先人達のため努力により維持・活用されてきた農地・農業用水等の地域資源を良好な状態で次世代に継承していく責務がある。この責務の遂行に不可欠な農業農村整備予算は、昨年、「闘う土地改良」の旗印の下、組織を挙げて様々な活動を行った結果、平成二十七年補正予算と平成二十八年度当初予算を合わせ、前年度より一千二百二十二億円の増額を実現することが出来た。それでも、予算は大幅削減前の水準に未だ達しておらず、引き続き、当初予算の増額などを要求していく必要がある。

一方、農業・農村は、土地持ち非農家や耕作放棄地の増加、資源管理の粗放化等の多くの課題に直面しており、持続可能な強い農業を実現するためには、農地の大区画化、汎用化等の農地の整備や適時適切な農業水利施設等の維持・更新が必要となっている。加えて、気候変動による豪雨災害の多発や全国各地でため池を令む農業水利施設等の老朽化が進行する中、国民の生命と財産を守るためにも、農村地域の防災・減災対策の推進が重要な課題となっている。

こうした状況の下、政府は総合的なT P P関連政策大綱を策定し、平成二十七年補正予算にT P P対策費を措置するとともに、農林水産業・地域の活力創造プランや国土強靱化基本計画、さらには、地方創生や一億総活躍社会の実現に向けて、各種施策に積極的に取り組んでいるところである。

水土里ネットは、農業・農村、更には、我々自身が抱える課題をも直視し、国が示した農政の方向を踏まえ、女性の能力も活用しつつ積極的な貢献を果たしていく覚悟である。

以上のことを踏まえ、ここに参集した同志が「闘う土地改良」の旗印の下に一致団結して、次の事項の実現を図り、農業農村整備を推進していくことを総会の名において決議する。

## 記

- 一 安定的・計画的な事業執行のために、平成二十九年度当初予算においては、現場のニーズに十分応えられる規模の農業農村整備予算を確保すること。さらに、T P P対策については、既存の農林水産予算の枠組みに影響を与えないよう、政府全体で毎年度責任を持つて必要な予算措置を講ずること。
- 一 担い手への農地集積、コスト低減、高品質・高収益な作物の生産等、農業の構造改革を加速化するため、水田の大区画化や汎用化、畑地化、畑地・樹園地の高機能化等の対策を着実に推進すること。その際、中山間地域等においても地域特性を踏まえた基盤の整備により農業経営の持続的な発展が可能となるよう十分配慮すること。
- 一 東日本大震災を始めとする災害からの一日も早い復旧・復興を進めるとともに、農村地成の強靱化に資するよう、ため池を含む老朽化した農業水利施設等の長寿命化や耐震化、洪水被害防止等の防災・減災対策を、国が責任を持つて着実に推進すること。
- 一 多面的機能支払制度の推進に当たっては、地域協議会や水土里ネットがこれまで培った技術、経験などもてる能力を十分発揮し、制度の効率的・効果的な推進に貢献すること。その際、国において十分な予算確保を図ること。
- 一 農地中間管理事業の推進に当たっては、水土里ネットが有する技術、経験、地図情報システムを活用し、農地整備事業との連携を始め、担い手の育成や面的集積、地元調整、行政機能の補完など、制度の円滑な推進に貢献すること。
- 一 農村の資源を有効に活用し、再生可能エネルギーの普及、維持管理費の低減に資するため、小水力発電等を推進すること。
- 一 構造改革の推進による組合員の減少や電気料金値上げなど、水土里ネットの運営基盤が大きく揺らいでいる中、今後とも担い手の求める高度な施設の維持管理が行えるよう、農事用電力の維持など水土里ネットの運営基盤の強化を図ること。

平成二十八年三月二十五日

全国土地改良事業団体連合会 第五十八回通常総会

# 全国水土里ネット表彰式



二階会長の挨拶

## 表彰された方々

(順不同 敬称略)

### 第57回全国土地改良功労者表彰

金章：柳川西部土地改良区

銀章：大木町土地改良区

銀章：元永土地改良区

個人表彰：角田中部土地改良区理事長

矢鳴 和樹氏

福岡県土地改良事業団体連合会事業部長

多田 達也氏



柳川西部土地改良区



## 平成27年度 福岡県土地改良換地士部会

日時：平成27年12月21日 午後3時～  
場所：水土里ネット福岡

平成27年度福岡県土地改良換地士部会を開催しました。  
県内の換地士など15名の参集した部会では、土地改良換地士の会員加入状況、並びに土地改良換地士の活動状況報告の後、換地関係異議紛争処理対策検討会における事例発表に続き、土地改良換地関係判例について活発な意見交換を行いました。



## 平成27年度 災害復旧技術向上のための講習

日時：平成28年2月5日 午後1時～  
場所：水土里ネット福岡

平成27年度災害復旧技術向上のための講習を開催しました。福岡県、市町村、土地改良区、アドバイザー合計73名参加のもとに開催しました。講習会は水土里ネット福岡渡辺専務理事の主催者挨拶に始まり、4名の講師により講義が行われ、参加者は熱心に聴講されていました。

### 講義内容

- 1、農村災害復旧専門技術者制度について
- 2、農地・農業用施設の災害の傾向
- 3、農地・農業用施設災害復旧事業の概要
- 4、応急工事
- 5、被災写真の作成方法
- 6、災害復旧工法
- 7、被災状況と採択事例
- 8、平成24年以降の通達文章
- 9、災害復旧事業費の積算



## 会長・事務責任者会議

日時：平成28年2月25日 午後4時～  
場所：グランデはがくれ

九州各県の会長・事務責任者25名が参集し、来賓として九州農政局農村振興部の山田部長が招かれました。

国からの情勢報告について九州農政局農村振興部の登り設計課長より説明があり、農地整備事業と農地中間管理事業との連携について、全国水土里ネットシステム開発部の山根次長より説明が行われ、その後活発な質疑や意見交換等が行われました





## 第11回 水土里のふるさと写真コンテスト審査委員会

日時：平成28年1月20日 午後1時～  
場所：水土里ネット福岡

第11回水土里のふるさと写真コンテストの審査委員会を開催しました。県内外より多数寄せられた応募作品の中から、入賞作品18点が決定しました。また、去る2月25日に開催した当会の第59回通常総会において表彰式が執り行われました。



## 福岡県農地・水・環境保全協議会 平成27年度多面的機能支払交付金の実施に係る研修会

福岡県内の多面的機能支払交付金事業を活用した取組が、国土保全、水源涵養、景観形成、文化の伝承、地域社会の維持など、農業・農村が果たしている多面的機能を維持し、かつ地域資源を地域全体で保全・継承し、未来へ引き継げるよう、関係者各位の意識の高揚を図ることを目的に開催しました。

県内3会場で約1,300名の役員、構成員が参加され、「参考になった」という意見を頂きました。皆さまに回答して頂いたアンケート結果は以下のとおりです。福岡県農地・水・環境保全協議会は、今後も継続して研修会等の開催を予定しています。



福岡会場 (H28.2.26)

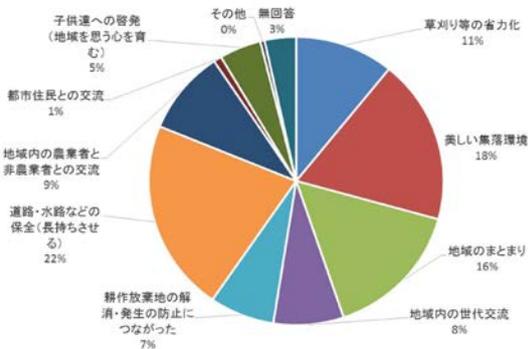


久留米会場 (H28.3.2)



飯塚会場 (H28.3.4)

### 交付金事業における取組により良くなったと感じること



1. 道路・水路などの保全(長持ちさせる) 639票

2. 美しい集落環境 546票

3. 地域のまとまり 459票

4. 草刈り等の省力化 321票

5. 地域内の農業者と非農業者との交流 279票

6. 地域内の世代交流 228票

7. 耕作放棄地の解消・発生の防止につながった 211票

8. 子どもたちへの啓発(地域を思う心を育む) 136票

9. 都市住民との交流 26票



県営ほ場整備事業 経営体育成基盤整備事業  
竹野地区竣工式

日時：平成28年2月18日



事業の概要

- 事業年度 起工 平成18年度  
竣工 平成26年度
- 組合員数 274名
- 総面積 140.2ha
- 総事業費 17億3,000万円
- 受益面積 110.0ha
- 道路工 7,300m
- 用水路工 14,600m
- 排水路工 10,100m
- 暗渠排水工 104.7ha

**碑文**

竹野第二土地改良区は、久留米市東部田主丸町（中尾・竹野・地徳）に位置し、北に筑後川水系一級河川の巨瀬川、南に市道お鷹の道に接し、自然豊かな環境の下、農業を中心にこれまで発展してきたところである。

従前の圃場は、狭く、不整形で用排水も分離されておらず、圃場の汎用性は難しかった。

また、農道も狭く非近代的な営農を余儀なくされており整備が急がれるなか、平成十八年九月十五日に県営ほ場整備事業（経営体育成基盤整備事業）として認可された。

総面積一四〇・二ヘクタールのうち創設非農用地として、国土交通省河川・福岡県道・久留米市運動公園・ゆうかり学園の土地取得代金を事業費に充て、平成二十六年度に全て完工した。

この運動公園とゆうかり学園の用地選定にあたって西郷地区の換地に對し、関係者全員の理解と協力が大きかった。

また、この地区には、久留米市天然記念物に指定されている「ヒナモロコ」が生息しており、生態系に配慮した水路の取組みも行っている。

ここに、工事の完工を記念すると共に地域が農業の近代化に向かって、大きく発展してゆくことを心から願い記念の碑を刻むものである。

平成二十八年一月吉日

竹野第二土地改良区



県営ほ場整備事業  
寺山地区竣工式

日時：平成28年2月26日



事業の概要

- 事業主体 福岡県
- 事業年度 自 平成21年度  
至 平成26年度
- 受益戸数 121戸
- 受益面積 43.3ha
- 総事業費 6億6,686万円
- 整地工 43.2ha
- 道路工 7,436m
- 用水路工 6,592m
- 排水路工 5,614m
- 暗渠排水 41.2ha

**碑文**

本地区は可也山の南側に位置し、嘉永5年（1852年）御床・元岡・井原の各舂内42の村から4,000人を越える加勢人が動員され完成した干拓地が約半分を占める水田地帯である。

この干拓により23町9反の農地が造成されたが、大部分が低地であるため大雨による冠水が頻繁に発生し、また、用排水が田越であること、稲作の水不足の懸念、圃場の分散等が高生産性農業の展開を阻害していた。

また、農業後継者が著しく減少する中、農地を維持・保全するため生産性の高い土地利用型農業を展開し、担い手への農地集積を図る必要に迫られている。

そこで、先人の努力により造成された農地を子々孫々に残し、高生産性農業を展開するため、関係者の総意の基に県営経営体育成基盤整備事業に取り組みこととなった。

事業の実施に当たり、関係諸機関の指導と関係者各位の熱意と努力が工事を順調に進め本事業が竣工したものであり、関係諸機関・関係者各位に對し感謝申し上げる次第である。

本事業が将来に亘り地域の農業振興と発展に寄与することを祈念しこの碑を建立する。

受益面積 43.3ha  
地権者戸数 121戸  
平成二十七年四月吉日

寺山地区基盤整備推進協議会  
会長 持田 寛

# 第11回

# 水土里のふるさと写真コンテスト



## 最優秀賞



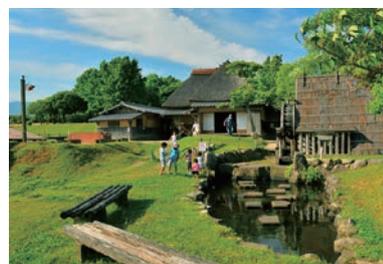
「豊かな土・耳納の里」 森 勝洋氏

優秀賞



「大茶園」 高良 慶治氏

優秀賞



「憩いの里」 高瀬 重信氏

## 入 選



「里山の夏の夕暮れ」  
奥苑 秀一朗氏



「棚田の火祭り」  
篠田 幸盛氏



「秋の色彩」  
藤井 利成氏



「サザエさんの田んぼアート」  
本田 優子氏



「干し柿のれん」  
中島 洋祐氏

## 佳 作



「大地のめぐみ」  
中島 美佐子氏



「春の訪れ」  
鹿島 和生氏



「秋の棚田」  
三浦 誠氏



「夏の思い出」  
右田 哲也氏



「山里の秋」  
木下 康幸氏



「棚田を守るボランティア」  
中村 セツコ氏



「いも傘」  
原田 諭氏



「村人総出の神幸祭」  
廣津 繁義氏



「棚田の火祭り準備中」  
永野 豪氏



「棚田の里」  
平澤 一氏



## 土地改良農業用施設賠償責任保険のご案内

～いざという時のお守りとして保険に加入できます～

### ◆このプランの主旨

このプランは、農業用排水路、道路、溜池、頭首工の所有者である市町村、土地改良区等が、所有、使用または管理する施設・設備に起因して生じた偶然な事故、または、業務の遂行によって生じた偶然な事故により第三者に身体障害や財物損壊を与えた場合に、法律上の賠償責任を負担することによって被る損害を保険金としてお支払いします。

- 保険期間／1年間
  - 契約者／福岡県土地改良事業団体連合会
  - 加入対象者(被保険者)／福岡県土地改良事業団体連合会の会員の皆様
- ※加入依頼書にご記名・ご捺印のうえ、用排水路、道路、溜池、頭首工の明細書および位置図(保険加入対象部分を朱書)を添えてお申し込み下さい。  
また保険料につきましてはお申し込み時にお支払いください。

### ◆保険料および保険金額のご説明

保 険 期 間 1 年				
保険の目的	用排水路	道 路	溜 池	頭 首 工
保 険 料	1kmあたり <b>1,500円</b>	1kmあたり <b>1,000円</b>	周囲1kmあたり <b>3,200円</b>	1箇所あたり <b>2,000円</b>

補償内容	保険金額(お支払い限度額)	免責金額(自己負担額)
身体賠償 (人身事故の場合)	1名……………1億円 1事故……………3億円	無 し
財物賠償 (物損事故の場合)	1事故…1,000万円	無 し

※保険の目的ごとに算出した保険料の10円未満は四捨五入します。  
※会員様ごとの最低保険料(保険の目的ごとに算出した保険料の合計額)は10,000円となります。  
※過去5年以内に保険請求された会員は別途保険料を提示いたします。

## 土地改良施設管理活動中の傷害保険

### ◆補償される事故

土地改良区等の施設管理活動作業に従事する人が、職務に従事している間(職務遂行場所への通勤途上を含みます。)に偶然な事故によりケガをされた場合、保険金の請求ができます。

保険料(平成26年5月1日現在の一例)

※( )内の金額は、20名様以上加入の保険料です。

プラン	死亡・後遺障害	入院日額	通院日額	保険期間	1人あたりの保険料
A-6	300万円	3,000円	1,000円	6ヶ月	3,440円 (3,260円)
A-12	300万円	3,000円	1,000円	12ヶ月	6,870円 (6,510円)
B-6	500万円	4,000円	2,000円	6ヶ月	5,820円 (5,520円)
B-12	500万円	4,000円	2,000円	12ヶ月	11,620円 (11,010円)

お問い合わせ

福岡県土地改良事業団体連合会 総務部 (総務課) TEL 092(642)1881



## 非補助農業基盤整備資金のご案内

土地改良区等が国からの補助を受けないで、かんがい排水やほ場整備、客土などの事業に取り組み、農業生産基盤の整備・保全の推進を図る場合、(株)日本政策金融公庫等が農家負担の軽減を目的に、土地改良区等に対して低利で融資する資金です。

なお、国の補助対象でない県または市町村単独による補助事業についても融資の対象となります。

- 貸付限度額 複数年にわたる事業の場合、各年度とも土地改良区が当該年度に負担する額までとなっています。(ただし、融資は1件当たりの最低額は50万円となっています。)  
なお、農業集落排水事業では、一部施設ごとに限度額を設定しています。
- 貸付金利 (固定金利) 非補助一般 融資期間に拘わらず0.1% (4月20日付)
- 償還期限 最長25年間(措置期間10年以内を含む)になっており、事業内容に応じて設定できます。

### ご相談・お問い合わせ

- 県農林事務所 (農村整備第1課)
- 市町村役場
- 農業協同組合
- 福岡県信用農業協同組合連合会 (融資営業部) TEL (092)711-3572
- (株)日本政策金融公庫 福岡支店 (農業食品課) TEL (092)451-1780
- 福岡県土地改良事業団体連合会 (農村整備1課) TEL (092)642-1890



## 土地改良事業に関する助言及び指導

本会では土地改良区等に対して以下のような事案について助言指導を行っています。

1. 土地改良事業に関する苦情、紛争への対応
2. 土地改良事業計画の作成、工事の実施に関する助言、指導
3. 事業主体の組織運営上の問題に関する助言、指導
4. 土地改良施設の管理に関する助言、指導
5. 農業水利に関する助言、指導
6. 土地改良法に関する指導
7. 換地処分その他農用地集団化に関する指導
8. その他

**定期相談日** 毎月1回 (第3水曜日) 開設しています。(祝日の場合はその翌日)  
緊急の場合は、開設日以外でも随時行っています。

**窓口** 農村整備1課 (事務局) TEL 092-642-1890  
農村整備2課 (北部事務所) TEL 0930-22-3655  
農村整備3課 (南部事務所) TEL 0942-53-2294

# 福岡県土地改良事業団体連合会

平成28年度 福岡県土地改良事業団体連合会 職員配置名簿(職員43+嘱託6=49名)

事務局	部	部長・次長	課(事務所)	課長(所長)	課長補佐	係
事務局長 岩田阿佐美	総務部 (15)	部長 田村 勝俊	参与	仲 秀樹	廣重 秀治 廣田 由美	総務企画係
			総務課	木戸 剛		経理係
			情報管理課	門畑 浩次		会員支援係
	事業部 (33)	部長 與田 博徳	農村整備1課	鶴田 政伸	農村整備1係	
			農村整備2係			
			農村整備2課 (北部事務所)	南嶋 尚	農村整備1係	
			農村整備3課 (南部事務所)	野田 昌克	農村整備1係	
			換地測量課	松尾 義春	吉武 正宏 古賀 敬士	換地係
					調査測量係	

🌸 平成27年度 退任・退職者 🌸 ～今まで大変お疲れ様でした～



渡辺 正人 氏  
(専務理事)

多田 達也 氏  
(事業部長)

岡崎 良輔 氏  
(事業部次長)

合屋 義彦 氏  
(農村整備2課長補佐)

吉富 勝則 氏  
(総務課長補佐)

(順不同)

# 平成28年度職員配置表

(平成28年4月1日現在)

係長	主査	主任	技師・主事	技師補・主事補	嘱託
兼務 木戸 剛		神田 憲章 肥後 瑠依	吉村 恵		白杵 順子
森山 賢史					
兼務 廣田 由美					
長部 孝洋	上田 圭	星野須美香	氏家 俊一		
佐竹 省悟	岩本 龍二 藤本 貴之 松原 理人	本田 崇 廣瀬 由樹	江頭 淳		藤本 栄治 赤司 睦夫
八田 光生					
今永 和弘	池上 明行 三谷 竜一	高橋 由夏			
伊藤 充裕	川口 和典	萩尾 誠	待鳥かえで		浦 久信
兼務 吉武 正宏	宮崎 正勝 大濱 真喜 楠本 仁志 磯田 正臣	今村 浩章	甲斐田 圭		長田 紀俊
兼務 古賀 敬士					

## 平成27年度水土里ネット福岡資格取得者の紹介

平成27年度 本会の職員が以下の資格を取得しました。

本会では、より一層の技術力向上のため、職員を挙げて資格取得に向け取り組んでいます。

RCCM(農業土木)

農業水利施設機能総合診断士

1級土木施工管理技士  
農業土木技術管理士

技術士補・測量士補



鶴田 政伸  
(農村整備1課)



八田 光生  
(農村整備1課)



松原 理人  
(農村整備1課)



待鳥 かえで  
(農村整備3課)

# 平成28年度 福岡県農林水産部関係課

部長 小寺 均      次長 平山 潤一郎  
次長 岡本 光司

	課長等	補佐等	係長等
農林水産政策課	副理事兼課長 坂井 忠則 副課長 富永康司 企画広報監 才田 英雄	課長補佐      柳瀬 留美	兼総務係長      和田 直樹
		企画主幹      因 孝一郎	兼予算第一係長      (本課長補佐)
		企画主幹      梶原 洋伸	予算第二係長      有働 勉
			予算第三係長      原田 真雄
			兼企画係長      徳田 輝光
		兼研究調整係長      小山 太	
農山漁村振興課	課長 半田 英彦 企画監 阿部 篤 検査監 岩谷 洋昭 検査監 児玉 英信	課長補佐      吉武 剛	中山間地域振興係長      吉田 昌浩
		課長技術補佐      本田 昌幸	技術管理係長      富田 陽一
		検査員甲      岩本 正三	入札係長      (本検査員甲・岩本)
		検査員乙      (本技術管理係長)	兼計画調整係長      堀 正和
			兼森林計画係長      桑原 清
		兼森林保全係長      渡邊 芳親	
農村森林整備課	副理事兼課長 金子 隆盛 副課長 瓜生 直美 企画監 村田 英晃	課長技術補佐      柳田 栄一	兼農村総務係長      因幡 匡弘
			管理係長      坂口 篤史
			基盤整備係長      山口 聡
			兼農村整備係長      安東 利幸
			兼農地保全係長      山崎 一徳
			兼治山係長      鵜 敏信
		兼林道係長      阿蘇品 典男	
振水産課	参事 成末 則之		兼漁港整備係長      井上 幹生
県土整備部水資源対策課			兼計画係長      池田 芳和
監査委員事務局 監査第二課			監査主査      空閑 秀行



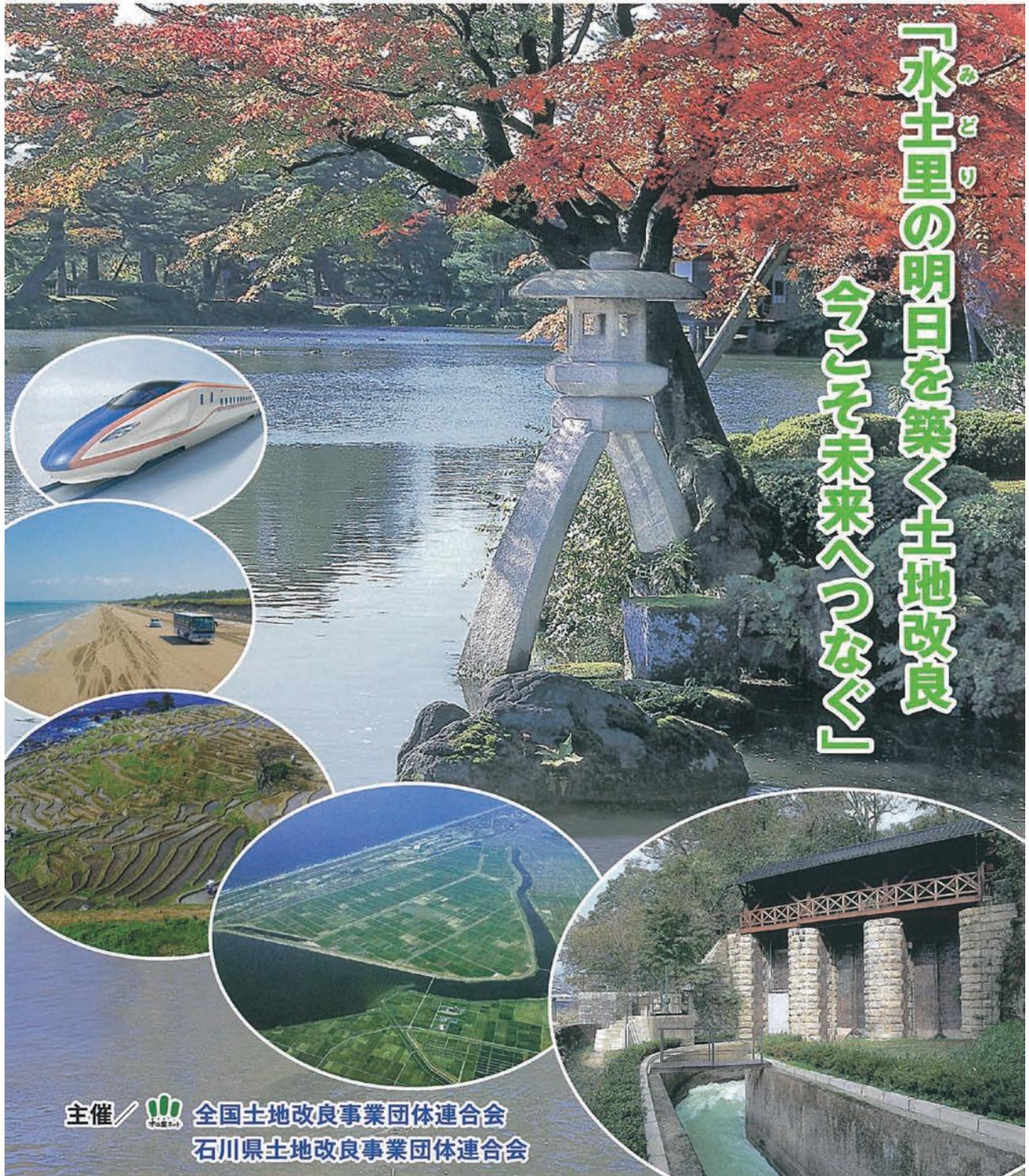
# 役付職員配置表

(平成28年4月1日現在)

	所長・副所長	出張所長・課長	係 長 等			
福岡農林	所長 山田 正秀 副所長 古後 昌直	総務 月足 敏光	庶務(補佐) 佐藤 博	会計 松崎ぬいこ		
		農山村振興 伊東 泰範	地域振興 安部 善巳	農地 永田 大		
		農業振興 東 穂積	農産金融(補佐) 松井 経治	園芸・食の安全 松尾 昭彦	畜産(参補) 井坂 智子	
		農村整備第一 藤井 裕三	管理(補佐) 黒石 雅則	参事補佐 山内 敬	計画(参補) 石津 誠司	
		農村整備第二 枝光 義裕	整備第一(参補) 田尻 稔	整備第二 町 武久	整備第三(参補) 岩崎 賢吾	
朝倉農林	所長 関 保昌 副所長 檜物 勤 参事 釜瀬 健一	総務 平野 清文	庶務(補佐) 飯田 茂夫	会計 緒方 修一		
		農山村振興 山下 浩文	地域振興 伊藤 康博	農地 藤丸 直之		
		農業振興 八尋 康德	農産金融(補佐) 池田 哲也	園芸・食の安全 綾戸 保	畜産 佐々木真二	
		農村整備第一 永岡 義規	管理(補佐) 大石 融	参事補佐 吉田 清二	計画 三浦 誠司	
		農村整備第二 大洲 洋信	整備第一(参補) 松瀬 弘明	整備第二(参補) 中村 正伸	用地 藤吉 聖哉	
		農村整備第三 平田 俊郎	副長 星野 光浩			
		合所タム 廣瀬 勝彦				
八幡農林	所長 梶原 秀康 副所長 石松 健一	総務 江藤 力	庶務(補佐) 川谷 稔	会計 北野 博司		
		農山村農業振興 藤原 隆	地域振興(補佐) 内山 和明	農産・金融 道谷 栄司	園芸・畜産・食の安全 山下 和也	
		農村整備 石川 芳行	管理・計画(補佐) 松本 匡浩	整備(参補) 後藤 俊実		
飯塚農林	所長 井上 直幸 副所長 平井 孝 参事 田中 一雄	総務 山本 誠	庶務(補佐) 伊藤栄太郎	会計 池田 淳		
		農山村振興 石田 富雄	地域振興 山本紀美恵	農地 五十川由加利		
		農業振興 笹川 文彦	参事補佐 田中 亨一	農産・金融 吉田 健美	園芸・食の安全(参補) 竹富 雅人	畜産(参補) 馬場 順子
		農村整備第一 三宅 幸介	管理(補佐) 岩田末次郎	参事補佐 銭花 祐司	参事補佐 藤田 潔	計画(参補) 関 康弘
		農村整備第二 守田 文明	整備第一 宮原 康隆	整備第二(参補) 瓜生 修		
筑後農林	所長 安河内一虎 副所長 長瀬 明好	総務 古賀 雅廣	庶務(補佐) 河口 千弘	会計 宮崎 裕子		
		農山村振興 佐藤 公大	地域振興 飯田 邦博	農地 藤木 秀明		
		農業振興 平野 幸二	農産・金融 山村裕一郎	園芸・特産・食の安全 林 浩二	畜産 木村 伸二	
		農村整備第一 待鳥 儀一	管理(補佐) 川島 和典	参事補佐 中道 貢	計画(参補) 大内田俊彦	
		農村整備第二 藤木 伸昭	整備第一(参補) 田中 伸二	整備第二 山本誠二郎	整備第三 中山 雅夫	
		農村整備第三 田中 正三	整備第一(参補) 佐々木清隆	整備第二 坂本 良一		
行橋農林	所長 川口 進 副所長 船越 修 参事 白藤 吉満	総務 中島 完治	庶務(補佐) 川崎 幸俊	会計 稲葉 誠		
		農山村振興 宇都宮正博	地域振興(参補) 高島 英司	農地 桑原 唯		
		農業振興 井手口直樹	参事補佐 岩隈 俊浩	農産・金融(参補) 溝口 一彦	園芸・畜産・食の安全 能美 晋	
		農村整備第一 苅田 豊徳	管理 村上 恵	計画 高倉 修二		
		農村整備第二 山田 昌弘	整備第一(参補) 高井 宏	整備第二 池之上 武		
筑後川水系	所長 山邊 義修 副所長 水田 昭彦 参事 中村 健一	総務 地頭 隆男	副長 古賀 司			
		管理 川畑 勉	管理(補佐) 松尾 広明	用地 島田 隆一		
		計画 馬場 秀昭	第一 原 康	第二 松本 隆浩		
		工事第一 渡邊 潔	参事補佐 石隈 隆	第一(参補) 酒井 龍典	第二 新開 栄治	
		工事第二 中尾 秀美	第一 小森 繁	第二(参補) 藤井 憲一		

# 第39回 全国土地改良大会 石川大会

平成28年 10月25日(火)  
いしかわ総合スポーツセンター



「**水土里**の明日を築く土地改良  
今こそ未来へつなぐ」

主催  全国土地改良事業団体連合会  
石川県土地改良事業団体連合会



## 福岡県土地改良事業団体連合会

新しい農業・農村の環境づくりを支援し、都市と農村の共生を目指します。

### 水土里ネット福岡

私たちは個人情報を大切に取り扱っています。

私たちはプライバシーマーク認定事業者です。

《認定番号:18940003(01)》



QM-8153



18940003(01)  
201501-202008

事務局 〒812-0044 福岡市博多区千代4丁目4番28号  
TEL 092-642-1881 FAX 092-642-1886  
<http://www.mnf21.com>

農村整備2課 〒824-0005 行橋市中央1丁目8番7号  
(北部事務所) TEL 0930-22-3655 FAX 0930-22-3282  
E-mail://hokubu@mnf21.com

農村整備3課 〒833-0041 筑後市大字和泉640番1  
(南部事務所) TEL 0942-53-2294 FAX 0942-53-2742  
E-mail://nambu@mnf21.com